



将来は児童館の名物先生

237

今回は中央区の
森田陽さん（25歳）
を紹介します。

—今まで。

東京で七年間の人生の修業を終え、この春から、普代児童館で働いています。

—仕事の内容は。

すべり台の次に大きい遊具として、子どもたちと遊んでいます。

—職場で心掛けていることは。

常に子どもの目線で。

—今の仕事についての理由は。

とにかく子どもが大好きで、大切だからです。

—仕事が休みの日は何をしてい

ますか。

—将来のあなたは。

普代児童館の名物先生として今と変わらず、ずっと子どもたちと触れ合っていきたいです。

—これから村に期待するものは何ですか

もっと幼児教育の重要性を理解してもらいたいです。そして、それを村中に浸透させて欲しいです。

—最後にあなたのPRを。

とにかく楽しいことが大好きです。みんなで楽しいことをいっぱいしましよう。

—次回はどなたを紹介してくださいますか。

堀内の坂上豊和さんです。

□ツクン□ール
—今、してみたいことは。
子どもたちと、泥んこプールで遊ぶ。

—趣味、特技は。
料理、おしゃべり、□ツクン□ール

—好きな言葉（信条）は。
出会ったからには、一生反対

—理想の女性像と結婚は。
同じ目標を持つて、人生を歩

んでいける人。結婚は：毎月、広報の最後のページをチェックしてください。

—百以上のおとぎ話や有益な話を知らなければ、親の資格がない」と、ある教育者は言い切っています。

歴史上の人物の成功談や失敗談など、面白い話を百編選び、小さい魂に奮発心を呼び起こし不屈の精神を培うための一冊です。（一万年堂出版）

「百以上のおとぎ話や有益な話を知らなければ、親の資格がない」と、ある教育者は言い切っています。

歴史上の人物の成功談や失敗談など、面白い話を百編選び、小さい魂に奮発心を呼び起こし不屈の精神を培うための一冊です。（一万年堂出版）



『光に向かって100の花束』

高森顕徹

『つばさ』全2冊

ダニエル・スタイル

「パイロットになるなんて絶対ダメだ！」父親の大反対でも何のその。内緒のレッスンでも高等操縦術をマスターするおてんば娘のキャシー。

『自分の木』の下で

大江健三郎

なぜ、子どもは学校に行かないではない？

素朴な疑問に、ノーベル賞作家は



『暁の超特急』

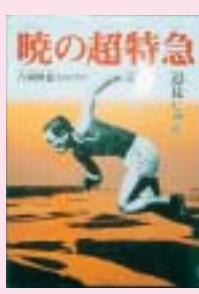
辻見じゅん

昭和初期、陸上百貨で世界大記録を三度も打ち立てる名スプリントラーがいた。

「暁の超特急」の異名をとったその人の名は、吉岡隆徳。天性のスプリントと人一倍の努力で、世界を駆け抜けた男の情熱と感動の物語



(朝日新聞社)



優しく、深く、思いでも込めて答える。子どもから大人まで贈る十六のメッセージは、心の底にとどまっています。

(松江今井書店)